

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|----------------|
| ○事業所名 | ソレイユの森 屯田 放課後等デイサービス I | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年11月1日 | | ～ 令和7年12月29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 55 | (回答者数) 50 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年11月1日 | | ～ 令和7年12月29日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月13日 | | ○公表日 令和8年3月10日 |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・ 同法人の体操クラブやボルダリング施設の本格的な設備を取り揃えていること。また、実際に指導の研修を受けた職員が配置されており、質の高い運動療育を提供できていること。 | ・ 運動を主軸とした療育を実施しており、体操クラブやボルダリング施設で実践しているカリキュラムを取り入れることで、運動感覚の向上を目指している。 | ・ 実施している運動遊びに加え、定期的に地域の資源（公園や体育館）を活用し、リズム・音楽要素を取り入れた活動を実施していく。また、微細運動を行う観点から、イベントだけでなく日々の療育にも、製作やクッキングなどを取り入れられるような仕組みづくりをしていく。 |
| 2 | ・ 利用児童のほとんどが1～3年生の低学年ということもあり、発達段階に応じた支援を提供しやすいこと。 | ・ 集団遊びの仲介に入り、交友関係の構築方法を伝えている。また、子ども同士では解決できない課題に直面した際に、事実の確認や解決方法を一緒に考える等の取組を行っている。 | ・ 職員への研修を充実させ、全ての職員が子どもの発達段階に応じた支援の方法を身につけ実践できるようにしていく。 |
| 3 | ・ 広い室内で利用児童がのびのびと身体を動かし、気持ちの発散ができる環境が整っている。 | ・ 室内でものびのびと身体を動かすことのできる広さや屋外活動を取り入れることでストレス発散や楽しみを得られる環境を提供できている。 | ・ ストレス発散しやすいものやみんなで楽しめる道具を増やしていく。 ・ 可能な範囲で屋外活動の回数を増やしていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・ 運動を主軸として療育を行っているため、学習への支援が十分に行っていないこと。 | ・ 保護者や子どものニーズも高いため、十分に運動の時間を確保したい。その際、1日のスケジュールのなかに、座って学習に取り組む時間を設定することが難しい。 | ・ 活動を立案する際に、運動のなかに読み書きや計算を取り入れた活動を設定し、体を動かしながら学習面へもアプローチしていけるようにしていく。 |
| 2 | ・ 新規の受け入れが難しい。 | ・ 退会者が少なく、新年度の移行時期になっても同法人の児童発達支援からの移行があるため、1年を通して各曜日定員に達していることが多い。 | ・ 空きができた際に、利用を希望していただいていたご家庭へ連絡し、その時点での利用希望の聞き取りを行う。 |
| 3 | ・ 他事業所や学校、児童館など各関係機関との情報共有の機会が少ない。 | ・ 現状、担当者会議や送迎の際に職員に子どもたちの情報を聞く事が情報共有の中心になっている。 ・ 個別支援計画に関連する業務や日々の療育に割く時間の割合が多く、他機関との情報共有の機会を作れていない。 | ・ 意識的に関係機関への連携をとり、各機関での取り組みや困りごとなどの情報共有をこまめに行うことで、各機関で足並みをそろえ、より良質な支援につながるような工夫が必要。 |

事業所名 ソレイユの森 屯田 放課後等デイサービス I

公表日 令和8年3月10日

利用児童数 61

回収数 52

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|---|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 52 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 44 | 5 | | 3 | ・土、祝日はイベントが多く子どもたちが楽しんでいる。 ・いつもしっかりみていただけています。 | ・利用児童に応じて適切な職員を配置しております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 44 | 3 | | 5 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 51 | 1 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 51 | | | 1 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 50 | | | 2 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 52 | | | | ・個別支援計画に沿って療育してもらっているのが改善点が良くなっている。 | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 49 | 1 | | 2 | ・家族支援がもう少し増えると良い。 ・心配事を伝えると次回に具体的な支援を行ってくれる。 ・子どもの変化が少しずつでいることに感謝。 | ・日々の保護者対応をより密に行ったり、必要に応じて、面談などの機会も設けていきます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 51 | | | 1 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 47 | 2 | | 3 | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 21 | 4 | 13 | 14 | ・他の子どもと活動するイベントはない気がする。 | ・現状、施設外の子ども達との関わりは少ないが、必要に応じて交流を検討していきます。 |
| 保護者 への 説 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 52 | | | 3 | ・冊子を用いて丁寧に説明していただき素晴らしいと思った。 | ・児童発達支援から放課後等デイサービスに移行の際に変更点も多いので、引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 52 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 38 | 4 | 3 | 7 | ・毎回、通所の際に情報提供や相談の時間を作ってくれる。 ・家族参加のイベントや茶話会がもう少しあると良いと思う。 | ・共通の悩みを抱える保護者も多いので茶話会や、家族イベントの回数を増やしていけるように検討していく。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 52 | | | | ・帰りの際に今日の出来事などを教えていただいている。 ・利用中の様子を欠かさず教えてくれるのがありがたい。毎回変わったことがないかを聞いてくれるので子どもの事も話しやすい。 | ・引き続き、日々の保護者対応やモニタリングによって、子どもの状況などを共通理解できるように努めていく。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 46 | 5 | 1 | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 51 | 1 | | | ・スタッフ全員がしっかりと説明してくれ具体的な支援をしてくれる。 | ・親御さんの育児や家庭での悩みに共感できるように、引き続き、職員の研修やスキルアップに努めていきます。 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------|----|--|----|---|---|---|---|--|
| 明 等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 37 | 6 | 4 | 5 | ・兄弟向けのイベントはない。 | ・兄弟間ならではの悩み等もあると思うので、兄弟参加のイベントなども検討していきます。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 47 | 4 | | 1 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 50 | 2 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 47 | 3 | | 2 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 50 | 1 | | 1 | ・玄関での対応の際に、他の親御さんの話が聞こえてしまう。 | ・ご家庭に関わるお話は十分に配慮が必要で、対応場所を分けるなどプライバシーへの配慮をより一層徹底していきます。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 45 | 3 | | 4 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 48 | 1 | | 3 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 49 | 2 | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 47 | 1 | 1 | 3 | | |
| 満 足 度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 50 | 2 | | | ・学校以外の子どもと関わることができて楽しく通えている。 | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 49 | 3 | | | ・8割は楽しみにしているが、2割は気分。 ・体操だけでなく子どもが楽しめる活動もたくさん取り入れていて楽しみながら通所することができている。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 51 | 1 | | | ・体を動かすことが大好きなので本人も親も満足している。 ・いつも子どもの事を気にかけていただき、その都度アドバイスをもらえるのでとても心強いです。 ・できることが増えて本人の自信に繋がりました。 | ・引き続き、子ども達が安心して楽しく通所できる環境やマンネリ化のない療育ができるように、日々職員で考えて向上できるように努めていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ソレイユの森 屯田 放課後等デイサービス I | | | | 公表日 | 令和8年3月10日 |
|---------|------------------------|--|-----------------------|-----------------------|---|-----------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | <input type="radio"/> | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | ・毎日、職員で清掃の時間を設け、環境整備に努めています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | ・子どもがクールダウンができる部屋には物を少なくして落ち着ける空間を作っています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | ・毎日、療育後に振り返りを行うことで業務改善や療育の質の向上に努めています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | <input type="radio"/> | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 適 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | ・必要に応じてVineland-II を用いて子どもの状況を図っています。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|---|
| 切 な 支 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | ・学校で行う体育にあわせて運動療育を変えたり、子ども達が自発的に参加できるようにゲーム性などを取り入れた運動療育を行っています。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | ・支援開始前に、療育内容の確認や役割分担、子どもたちの支援目標や注意事項を確認する時間を設け、チームで連携し、スムーズに支援が行えるように心がけています。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | ・支援終了後は、その日の気づきや、保護者との会話などを職員で共有し、今後の改善に努めています。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | ○ | | | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | ・当事業所の児童発達支援と情報交換や共有を行うことで、支援の改善やスムーズな放課後等デイサービスへの移行に努めています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | ・現状、協議会への参加ができていないが、職員の質の向上に向け、研修の参加等を検討していきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|--|---|
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | ・契約の際に運営規程、支援プログラム、利用者負担について説明を行っています。また変更がありましたら、都度、お知らせをしています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | ・年に数回、保護者向けに茶話会を行い、保護者同士の悩みを共有したり、情報を交換する機会を設けています。 | ・実施回数が少ないので、より多くの保護者に参加できるように検討していきます。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | ・定期的にお便りの発行や、LINEを用いて情報発信をしています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | | ・地域の招待などは行ってないが、今後、必要であれば慎重に検討していきます。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | ・マニュアルの作成や訓練は行っているが、家族への周知が不十分なところがあるので、今後、周知ができるように改善していきます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | ・年に2回、地震や火災を想定して、避難訓練を実施しています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | ・アレルギー一覧表を作成し、対応しています。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------|------|------------|
| ○事業所名 | ソレイユの森屯田 放課後等デイサービスⅡ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年11月24日 | ～ | 令和7年12月29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 66 | (回答者数) 45 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年11月1日 | ～ | 令和7年11月29日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年12月15日 | ○公表日 | 令和8年3月10日 |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 利用する児童それぞれに合わせて活動内容を変更させている。 | 職員と保護者で日頃から事業所の様子や自宅での様子について話し合い、必要に応じて他機関の情報も交えながら会議を行っているため、児童それぞれに合わせた活動を提供できるようにしている。 | 今後も継続して児童それぞれに合わせた活動を提供しつつ、より楽しめる活動を取り入れていけるよう話し合いを進めていく。 |
| 2 | 児童が活動を行う環境として十分なスペースと備品が揃っている。 | 日頃から環境面の修繕や整理を行い、常に児童が運動を行うための環境を整えるように意識している。器械体操を活動に取り入れているため、日頃から十分なスペースを確保するよう意識している。 | 学年や性別などによる遊びの違いに合わせて今後も備品の調整などを行っていく。 |
| 3 | 器械体操の経験を豊富に積める。 | 社内研修として器械体操の補助練習を職員同士で行っており、実際に児童へ補助に入る際には必ず指導者をつけて対面で行っている。豊富な技練習をより安全に提供していけるよう心掛けている。 | より体操の補助につける職員を増やしていき、活動の内容の充実を図っていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 児童館クラブや児童館との交流はない。 | 児童館へ通っている児童は大勢いるが、送迎時に児童館職員と様子について共有するのみで、関わりは少ない。 要因としてイベントや行事に関しては共有する機会や、ニーズも少ないためである。 | 今後保護者や利用児童、児童館等からのニーズを調査していき、必要に応じて導入を検討していく。 |
| 2 | きょうだい同士の交流機会が少ない。 | 体操療育を行っている事業所であり、器具等による怪我の危険性があり、きょうだいを呼ぶ機会を持つことができない。 | 今後は保護者に事業所の設備や備品について説明し、ニーズに合わせて開催を検討する。 |
| 3 | | | |

事業所名 ソレイユの森屯田 放課後等デイサービスⅡ

公表日 令和8年3月10日

利用児童数

66

回収数

46

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|--------------------------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|--|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 42 | 1 | 0 | 3 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 39 | 2 | 0 | 5 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | 広々としていて、安全なため安心して いる。 トイレの壁が怖いと感じることがある。 | 子どもたちの不安感を軽減するために、 トイレ内の装飾について検討していく。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 45 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | 様々な活動を取り入れている。 | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 45 | 1 | 0 | 0 | 曜日変更等にも対応してもらっている。 | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 45 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 43 | 1 | 0 | 2 | イベントなどの工夫がされている。 | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14 | 5 | 3 | 25 | 児童クラブに通っている児童も多そう。 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 30 | 4 | 1 | 11 | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | 毎回わかりやすく説明を受けている。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 42 | 1 | 0 | 3 | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 44 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 28 | 4 | 4 | 10 | きょうだい児向けのイベントがこの先あ ると良いと感じるが、年齢差もありそう なため、難しい部分も感じる。 | 今後はきょうだい児向けのイベントの開 催や、保護者の方が参加できるものなど を検討していく。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 43 | 2 | 0 | 1 | 困った時に親身に聞いてくれる。 | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 39 | 5 | 0 | 2 | イベント情報発信や連絡帳も写真付きで分かりやすい。 | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 44 | 0 | 0 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 39 | 3 | 0 | 4 | 訓練はされている。 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 40 | 1 | 0 | 5 | 避難訓練もされており安心している。 | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 42 | 0 | 0 | 4 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 43 | 0 | 0 | 3 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 46 | 0 | 0 | 0 | 他デイサービスへの移動を本人が嫌がり、安心していると感じる。 | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 43 | 3 | 0 | 0 | 本人の発散の場になっている。本人から嫌がる職員がいないこともあり、楽しみにしていると感じる。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 45 | 1 | 0 | 0 | 長い間通っており、心身ともに成長を感じる。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ソレイユの森屯田 放課後等デイサービスⅡ | | | | 公表日 | 令和8年3月10日 |
|---------|----------------------|--|-----|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 利用児童が走れるほどのスペースがある。ホールだけではなく、保育室や個室もある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 職員の配置数は利用定員に対して適切である。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | ○ | 保育室やトイレなどの部屋が分かりやすい。 | 体操器具の関係で段差がある。扉の鍵が低いいため、子どもでも触れる。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日職員で清掃を行っている。保育室のタイルカーペットを張り替えたため、清潔感がある。 | 時折清掃が行き届いていないことがあるため、今後より細かく清掃箇所を決めチェックしていく。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 個室があるため、状況に合わせて子どもが使用している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 毎日の会議と活動前の打ち合わせを行っている。 | 新入職員への指導も含め今後も継続していく。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 都度保護者からの評価を受け、職員間で共有し改善に努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 職員が意見を発信する機会は多い。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者の外部評価導入を検討していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 毎月開催されている。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 事業所の特性や環境を活かした支援プログラムを作成している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | モニタリングや日々の送迎時に聞き取りを行い、会議にて検討している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 概ね職員が揃って会議や検討事項についての話し合いを行っている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 計画は職員間で共有しており、計画通りに支援を行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 行動観察を主としており、インフォーマルなアセスメントを行っている。 | 今後は標準化されたフォーマルなアセスメントも導入を検討していく。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 子ども一人ひとりに合わせた目標を設定し、適切な支援内容を設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 活動内容に関して職員間で打ち合わせを行って決めている。 | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|-----------------------------|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 週ごとに主種目を変え、副運動や机上課題は日々変えている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 集団での活動の他に製作活動を取り入れ、個別活動も取り入れている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 日々打ち合わせを必ず行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 支援終了後に支援中に気付いたことや、送迎時の共有事項を話しあっている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 支援終了後に記録を取っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 適宜見直しを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 概ねの基本活動を組み合わせ支援を行っている。 | 今後は地域交流の機会を増やしていくことを検討していく。 |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 子どもと職員での話し合いの機会を設け、選択肢の提案などを行いながら自己決定力が育つよう心掛けている。 | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 適切な職員が会議に参画している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 学校との会議やクリニック見学など必要に応じて行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 連絡調整はしている。また、適宜学校へ連絡をし、通所している子どもの様子を確認している。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 主に児童発達支援事業所との間で情報共有をしている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 当事業所を卒業する場合に、必要に応じて移行先へ情報提供を行っている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | 今後そういった機会を設けていきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 事業所としては行っていない。今後職員間で検討していく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | 積極的な参加は行っていない。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 送迎時や必要に応じて面談を行っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | 今後は家族が参加できる研修なども検討していく。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に必ず行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 必ず子どもや家族の意向を確認している。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|-----------------------|---|---|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 必ず同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 送迎時や電話、面談の場所を設け助言等を行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 保護者会を開催し、保護者間での交流の場を子どもの学年を分けて実施している。その場で家庭での悩みを共有し、相互に相談し合う場や助言を行っている。 | きょうだい同士での交流の場の設け方を検討していく。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 苦情に対しては迅速に対応している。 | 今後は事業所の中であった苦情内容や対応方法の共有の方法について改めて確認する。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | イベント案内を公式LINEから発行している。 | 定期的なおたよりの発行を検討する。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 取り扱いには十分留意し、必要に応じてデータのパスワード設定を行っている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 自宅での困りごとや対応方法などを意思疎通を図っている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | 事業所の行事に地域住民を招待することがない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 周知と訓練の実施をしている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 訓練と職員内で研修を行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約時の確認だけでなく、家庭状況の聴取と共に確認している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | アレルギーの有無は必ず確認し、日頃配っているおやつや行事での食品にも配慮をしている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 細かなことでも記録し、再発防止に向けて話し合いを行っている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 職員研修を行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 組織的な決定を行い、保護者に説明している。 | | |